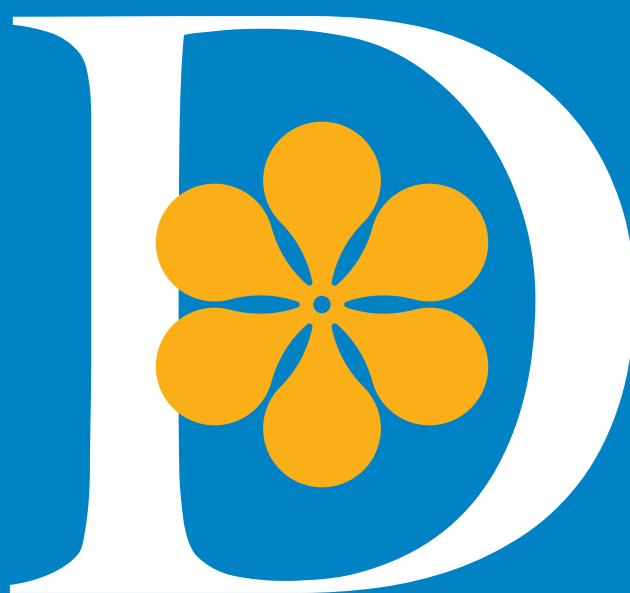


札幌市立大学大学院
デザイン研究科
博士前期課程

2026
履修の手引き



札幌市立大学大学院デザイン研究科

GRADUATE SCHOOL OF DESIGN
SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学大学院デザイン研究科における3つの方針(3ポリシー)

札幌市立大学大学院の教育・研究理念のもと、デザイン研究科の各課程において以下のとおり「アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）」、「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」及び「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」の3つの方針を定めています。

デザイン研究科博士前期課程

アドミッション・ポリシー

<教育・研究の目的>

博士前期課程の教育・研究の目的は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った人材の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことです。

<求める学生像>

博士前期課程の教育・研究の目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

- 1 デザインに関する基礎的知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人。
- 2 各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人。
- 3 デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意思を持った人。

<入学者選抜の基本方針>

博士前期課程では、国籍を問わず、デザイン学、工学・情報学系などの専門分野の学士を取得または取得見込み、もしくは学士取得後に地域社会で活躍しながらデザイン分野の修士（デザイン学）の学位を取得しようとする者を入学試験で選抜します。その際に、以下の能力を有していることを重視します。

- 1 人間空間デザイン分野（建築デザイン、環境デザイン、地域コミュニケーションデザイン（まちづくり）等）、人間情報デザイン分野（情報デザイン、プロダクトデザイン、インタラクションデザイン等）のいずれかの専門知識を有していること。
- 2 博士前期課程の修士論文、修了制作報告書または特定課題研究報告書を執筆できる論述能力に加えて、修了制作を選択する場合は志望する専門分野における作品の制作ができるデザイン能力を有していること。
- 3 高度な専門知識及び技法の修得のための情報収集の能力及び英語によるコミュニケーションを可能とする語学力を有していること。

<入学者選抜方法>

博士前期課程の入学者の選抜は、「推薦選抜」「一般選抜」「社会人・私費外国人留学生特別選抜」の別により、以下の方法にて行います。

- 1 「推薦選抜」では、出願資格を有する者で所属する大学の学部長・高等専門学校の校長が推薦した者を対象として、面接・試問によって研究計画の妥当性、専門知識・能力、進学意欲・社会性を総合的に評価し、その結果及び出願時の提出書類の内容を総合的に判定して入学者を選抜する。
- 2 「一般選抜」では、専門科目の筆記試験によって論述能力・専門能力を総合的に評価し、英語（TOEIC又はTOEFLのスコア）によって本課程で学ぶ上で必要な英語力を評価し、面接・試問によって研究計画の妥当性、専門知識・能力、進学意欲・社会性を総合的に評価し、これらの結果及び出願時の提出書類の内容を総合的に判定して入学者を選抜する。
- 3 「社会人・私費外国人留学生特別選抜」では、専門科目の筆記試験によって論述能力・専門能力を総合的に評価し、面接・試問によって研究計画の妥当性、専門知識・能力、進学意欲・社会性を総合的に評価し、これらの結果及び出願時の提出書類の内容を総合的に判定して入学者を選抜する。

カリキュラム・ポリシー

博士前期課程では、本課程に掲げる理念・目的のもと教育・研究活動を展開し、ディプロマ・ポリシーに示した能力を有する人材を育成するため、以下に示す教育課程を編成し、実施します。

<教育課程の編成方針>

- 1 基礎的知識から各分野に特化した専門的知識までを一貫して修得するために、講義等を段階的・効率的に設定し、組織的に展開する教育課程とする。

- 人間空間デザイン分野（建築デザイン、環境デザイン、地域コミュニケーションデザイン（まちづくり）等）、人間情報デザイン分野（情報デザイン、プロダクトデザイン、インタラクティブデザイン等）の2つの分野を設け、「課題解決能力」「創造力」「企画調整能力」「実践能力」といった高度で専門的なデザイン遂行力を育む授業科目を配置する。
- 地域社会に内在する様々な課題を発見・解決するために、デザインの視点に加え、看護学との連携によって進める研究科連携科目及び地域をフィールドにして専門知識・技術を具体的に実践する実践科目を配置する。
- 『修士論文』『修了制作及び修了制作報告書』あるいは『特定課題研究報告書』のいずれかの成果を導き出す方法論の修得ができる教育課程とする。

<教育内容・方法の実施方針>

- 「専門教育科目」と、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」を実施する。
- 「専門教育科目」は、人間空間デザイン分野及び人間情報デザイン分野における「基本科目」「展開科目」「実践科目」及び「修了研究（特別研究）」によって理論・知識の修得、実践的な技術・技法を修得する。「研究科連携科目」は、幅広い視野を身につけるため、デザインと看護に共通する関連領域の基礎的素養を涵養する。
- 修了研究では、主・副指導教員のもとで、修士（デザイン学）の学位取得までの一貫性のある指導を行い、対外的な研究発表・作品発表を課すとともに2回の中間発表会を開催し、研究の指導、推進を図る。
- 社会人学生のために、昼夜開講制と長期履修制を実施することによって多様な学び方に対応した学修を可能とする。

<学修成果の評価方針>

- 学修成果の評価は、本研究科で定める成績評価に関する基準に基づき、あらかじめ授業計画（シラバス）に示された「科目のねらい」「到達目標」に則した「成績評価基準と方法」に基づいて実施する。
- 「専門教育科目」「研究科連携科目」については、講義科目及び演習科目は15時間1単位として、実習科目については45時間1単位としてそれぞれ単位認定を行う。
- 修了研究（特別研究）の審査は、2回の中間発表会を経た学位申請者を対象にして、主査1名・副査2名の審査員により2段階の審査（修了研究一次審査・二次審査）を行う。「修了研究一次審査」は、提出された修士論文等の内容に関するプレゼンテーションと口頭試問による審査での合格者を対象に実施する。「修了研究二次審査」は、修正した修了研究（梗概）と回答書、公開発表会の内容、最終修士論文等・修了制作の内容によって行う。
- 修了研究（特別研究）の審査基準は、「本研究科（博士前期課程）の教育・研究上の理念の達成状況（①人間重視の考え方を基盤とした専門性の追求、②国内外で活躍しうる創造力・分析能力・実践力・マネジメント能力、③先端的かつ専門分野を超えた学際的・実践的な研究の取り組み、④地域課題への対応、⑤看護分野と連携した少子高齢化社会における保健・医療・福祉分野の課題への対応）」及び「修了研究としての成果（①独創性、②有用性、③信頼性、④完成度、⑤口頭試問等での発表及び質疑に対する応答の内容）」とする。

ディプロマ・ポリシー

博士前期課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対して高度で専門的なデザイン能力を持った専門人材の責務を、①複合的かつ複雑な課題・問題を解決できること、②デザインを通じて新たな価値を見出すことができること、③課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめることができること、④一連のデザインプロセスを具体化して実践できることの4種類に整理しています。したがって本課程は、学士またはそれに相当する基礎的な発想力、創作表現力、多様なコミュニケーション能力を基盤としてデザイン学に関連する課題や研究に取り組み、所定の単位を修めた上で修了研究の審査に合格し、以下の能力を備えた者に修士の学位を授与します。

- 複合的かつ複雑な課題・問題を解決できる「課題解決能力」
- デザインを通じて新たな価値を見出すことができる「創造力」
- 課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめることができる「企画調整能力」
- 一連のデザインプロセスを具体化して実践できる「実践能力」

2026 履修の手引き

札幌市立大学大学院デザイン研究科
博士前期課程

《目 次》

1 授業スケジュール

1-1 年間スケジュール	05
1-2 修学進行表・修了研究の進め方	06
1-3 長期履修学生の研究スケジュール	09
1-4 時間割	11

2 教育課程

2-1 デザイン研究科博士前期課程の教育・研究上の理念	14
2-2 教育目的	14
2-3 育成する人材像	15
2-4 教育課程の編成・特色	16
2-5 修了研究スケジュール	17

3 履修要項

3-1 授業科目一覧・履修モデル	23
3-2 履修登録について	25
3-3 履修登録マニュアル	27

1

博士前期課程 授業スケジュール

- 1-1 年間スケジュール
- 1-2 修学進行表
 - 修了研究の進め方
 - ・2026年度入学生
 - ・2025年度入学生
- 1-3 長期履修学生の研究スケジュール
- 1-4 時間割

1 -1 年間スケジュール

◆入学式	4月 3日(金)
◆前期ガイダンス	4月 6日(月)
◆前期授業開始	4月 7日(火)
◆前期履修登録期間	4月 7日(火)～4月14日(火)
◆健康診断	4月15日(水)
◆夏季休業	8月 8日(土)～8月26日(水)
◆前期成績公表	8月27日(木)
◆後期授業開始	9月28日(月)
◆後期履修登録期間	9月28日(月)～10月 5日(月)
◆冬季休業	12月24日(木)～1月 3日(日)
◆後期成績公表	2月26日(金)
◆春季休業	3月 1日(月)～3月31日(水)
◆修了式	3月19日(金)

1-2 修学進行表 (博士前期課程1・2年次)

※①は博士前期課程1年次関連、②は博士前期課程2年次関連
 ※(9月)は2026年9月修了関連、(3月)は2027年3月修了関連

週数	月	月		火		水		木		金		土		日	備考						
		回数		回数		回数		回数		回数		回数									
1						1	-		2	-	3	-	4	入学式	5						
2	4月	6	-	前期ガイダンス	7	1	前期授業開始 履修登録開始	8	1		9	1	②研究計画書提出 期限(2年次)	10	1	①指導教員希望届 提出期限	11	1	12	前期ガイダンス(4/6) 前期授業開始(4/7) 健康診断(4/15)	
3		13	1		14	2	履修登録終了	15	2	D健康診断	16	2		17	2		18	2	19		
4		20	2		21	3		22	3		23	3		24	3		25	3	26		
5		27	3		28	4		29	-	昭和の日	30	4		1	4		2	4	3	憲法記念日	
6	5月	4	-	みどりの日	5	-	こどもの日	6	-	振替休日	7	5		8	5	①研究課題届 提出期限	9	5	10		
7		11	4		12	5		13	4		14	6		15	6		16	6	17		
8		18	5		19	6		20	5		21	7		22	7		23	7	24		
9		25	6		26	7		27	6		28	8		29	8		30	8	31		
10	6月	1	7		2	8		3	7		4	9		5	9	②学位申請期限 (9月)	6	9	7		
11		8	8		9	9		10	8		11	10		12	10	①研究計画書 提出期限(1年次)	13	10	14		
12		15	9		16	10		17	9		18	11		19	11		20	11	オープン キャンパス	21	
13		22	10		23	11		24	10		25	12		26	12		27	12	28		
14	29	11		30	12		1	11		2	13		3	13		4	13	5			
15	7月	6	12		7	13		8	12		9	14		10	14		11	14	12		
16		13	13	②修士論文等 提出期限(9月)	14	14		15	13		16	15		17	15		18	-	D編入・博士前期 推薦入試 N専攻科学内選抜	19	
17		20	-	海の日	21	15	②修了研究口頭 試問(9月)	22	14		23	-		24	-		25	15	26		
18		27	14		28	-		29	15		30	-	②審査員への回答書 提出期限(9月)	31	-		1	-	2		
19	8月	3	15		4	-	②第2回中間発表会 (3月)、修了研究 公開発表会(9月)	5	-		6	-		7	-		8	-	夏季休業開始	9	
20		10	-	11	-	山の日	12	-	②最終修士論文等 提出期限(9月)	13	-		14	-		15	-	16			
21		17	-	夏季一斉休業	18	-		19	-		20	-		21	-		22	-	23		
22		24	-	25	-	学内研究交流会	26	-	夏季休業終了	27	-	成績公表	28	-	20周年記念式典	29	-	30			
23		31	-	1	-	2	-	3	-	4	-	5	-	N専攻科一般選抜	6						
24	9月	7	-	8	-	9	-	10	-	11	-	12	-	13				14			
25		14	-	15	-	16	-	17	-	②修了判定結果 公表(9月)	18	-		19	-	大学祭(芸義C) オープンキャンパス	20	大学祭(藝園C)			
26		21	-	敬老の日	22	-	国民の休日	23	-	秋分の日	24	-		25	-	9月卒業・修了式	26	-	D・N博士前期 課程入試	27	
27		28	1	後期授業開始 履修登録開始	29	1		30	1		1	1		2	1		3	1	4		
28	10月	5	2	履修登録終了	6	2		7	2		8	2		9	2		10	2	D総合型選抜	11	
29		12	-	スポーツの日	13	3		14	3		15	3		16	3		17	3	18		
30		19	3		20	4		21	4		22	4		23	4		24	4	25		
31		26	4		27	5		28	5		29	5		30	5		31	5	1		
32	11月	2	5		3	-	文化の日	4	6		5	6		6	6		7	6	8		
33		9	6		10	6		11	7		12	7		13	7		14	7	連携プロジェクト演習 公開成果発表会	15	
34		16	7		17	7		18	8		19	8		20	8		21	-	D・N学校推薦型選 抜・社会人特別選抜	22	
35		23	-	勤労感謝の日	24	8		25	9	産学官全研究 交流会	26	9		27	9		28	8	29		
36	30	8		1	9		2	10		3	10		4	10	②学位申請期限 (3月)	5	9	6			
37	12月	7	9		8	10		9	11		10	11		11	11		12	10	13		
38		14	10		15	11		16	12		17	12		18	12		19	11	20		
39		21	11		22	12		23	13		24	-	冬季休業開始	25	-		26	-	27		
40		28	-	29	-	年末年始休日	30	-	年末年始休日	31	-	年末年始休日	1	-	元日 年末年始休日	2	-	年末年始休日	3	冬季休業終了	
41	1月	4	12		5	13		6	14		7	13		8	13		9	12	10		
42		11	-	成人の日	12	14		13	15		14	14		15	14		16	-	(大学入学共通 テスト)	17	(大学入学共通 テスト)
43		18	13		19	15		20	-		21	15	②修士論文等 提出期限(3月)	22	15		23	13	24		
44		25	14		26	-		27	-		28	-	②修了研究口頭 試問(3月)	29	-	②修了研究口頭 試問(3月)	30	14	31		
45	2月	1	15	①第1回中間発表 会発表提出期限	2	-		3	-		4	-	①第1回中間 発表会	5	-		6	-	N博士後期 課程入試	7	
46		8	-	②審査員への回答書 提出期限(3月)	9	-		10	-		11	-	建国記念の日	12	-	②修了研究公開 発表会(3月)	13	15	D博士後期 課程入試	14	
47		15	-	16	-	17	-	18	-		19	-	②最終修士論文等 提出期限(3月)	20	-		21	-	22		
48		22	-	23	-	天皇誕生日	24	-	25	-	D・N学部一般前 期・D留学生入試	26	-	成績公表	27	-	28				
49	3月	1	-	春季休業開始	2	-	②修了判定会議 (3月)	3	-	②修了判定結果 公表(3月)	4	-		5	-		6	-	7		
50		8	-	9	-	②製本原稿等提 出(3月)	10	-		11	-		12	-		13	-	14			
51		15	-	16	-	17	-	18	-		19	-		20	-	卒業・修了式	21	-	22	春分の日	
52		22	-	振替休日	23	-	24	-	25	-	26	-	27	-	28	-	29	-	30		
53		29	-	30	-	31	-														

…長期休業期間

◎修了研究の進め方 [2026年度入学生]

※以下のスケジュールは予定です。今後変更になる可能性があります。

1年次

4月6日：ガイダンス

4月 指導教員の決定

- ・指導を受けたい教員と面談して、研究指導についての合意を得てください。
- ・4月10日までに指導教員希望届を提出してください。

5月 研究課題の決定

- ・5月8日までに主指導教員と相談の上、研究課題届を提出してください。
- ・社会人経験のない学部卒業学生がビジネスプラン等の特定課題研究を選択する場合は、学内審査を実施するため、4月16日までに研究課題届を提出する必要があります。

6月 研究計画の立案及び指導の開始

- ・6月12日までに研究計画書を作成し、主指導教員に提出してください。

2月 第1回中間発表会

- ・2月4日に第1回中間発表会を開催します。

2年次

(以下は3月修了を想定したスケジュールです。)

4月 研究計画書の作成

- ・研究計画書を作成し、主指導教員に提出してください。

8月 第2回中間発表会

- ・第2回中間発表会を開催します。

12月 学位申請

- ・3月に修了を予定している学生は、12月に学位申請をする必要があります。詳細は「学位申請の手引」(第2回中間発表会にて配布予定)をご覧ください。

1月 修士論文等の提出

- ・修士論文等を提出してください。
- ・提出先、提出方法は「学位申請の手引」をご覧ください。

1月 口頭試問(修了研究一次審査)の実施・修士論文等の修正

- ・口頭試問(修了研究一次審査)を実施します。
- ・口頭試問(修了研究一次審査)の結果に応じて、回答書及び梗概の修正版を提出してください。

2月 公開発表会・最終修士論文の提出(修了研究二次審査)

- ・公開発表会を実施します。
- ・公開発表会の質疑を踏まえて最終的な修正を行い、提出してください。

3月 修了判定・修了式

- ・3月初旬 修了判定結果を発表します。
- ・3月中旬 修了式

◎修了研究の進め方 [2025年度入学生]

※以下のスケジュールは予定です。今後変更になる可能性があります。

2年次 (以下は3月修了を想定したスケジュールです。)

4月 研究計画書の作成

- ・4月9日までに研究計画書を作成し、主指導教員に提出してください。

8月 第2回中間発表会

- ・8月4日に第2回中間発表会を開催します。

12月 学位申請

- ・3月に修了を予定している学生は、12月4日までに学位申請をする必要があります。
- ・詳細は「学位申請の手引」(第2回中間発表会にて配布予定)をご覧ください。

1月 修士論文等の提出

- ・1月21日までに修士論文等を提出してください。
- ・提出先、提出方法は「学位申請の手引」をご覧ください。

1月 口頭試問(修了研究一次審査)の実施

- ・1月28日・29日に口頭試問(修了研究一次審査)を実施します。

2月 修士論文等の修正

- ・2月8日までに、口頭試問(修了研究一次審査)の結果に応じて、回答書及び梗概の修正版を提出してください。

2月 公開発表会・最終修士論文の提出(修了研究二次審査)

- ・2月12日に公開発表会を実施します。
- ・公開発表会の質疑を踏まえて最終的な修正を行い、2月19日までに最終修士論文等を提出してください。

3月 修了判定・修了式

- ・3月3日 修了判定結果を発表します。
- ・3月19日 修了式

1-3 長期履修学生の研究スケジュール

1 長期履修期間3年のスケジュール

(※以下のスケジュールは予定です。今後変更になる可能性があります。)

1 年 目	4月 研究指導教員希望届の提出 → 研究指導教員の決定
	5月 研究課題届の提出 → ※社会人経験のない学部卒業生がビジネスプランを選択する場合は、学内審査を経る必要があります。
	6月 研究計画書の提出
	2月 第1回中間発表会
2 年 目	4月 研究計画書の提出
	2月 第1回中間発表会 ※研究経過について発表
3 年 目	4月 研究計画書の提出
	8月 第2回中間発表会
	12月 学位申請 ※詳細は別途配布する「学位申請の手引」をご確認ください。
	1月 修士論文等の提出 → 主査・副査による審査 口頭試問（修了研究一次審査） 修士論文等の修正
	2月 口頭試問（修了研究一次審査）の結果に応じて回答書及び梗概の修正版を提出 公開発表会・最終修士論文等の提出（修了研究二次審査）
	3月 修了判定結果の発表
	3月中旬 修了式

2 長期履修期間4年のスケジュール

(※以下のスケジュールは予定です。今後変更になる可能性があります。)

1 年 目	4月 研究指導教員希望届の提出 ——> 研究指導教員の決定
	5月 研究課題届の提出 → ※社会人経験のない学部卒業生がビジネスプランを選択する場合は、学内審査を経る必要があります。
	6月 研究計画書の提出
	2月 第1回中間発表会
2 年 目	4月 研究計画書の提出
	2月 第1回中間発表会 ※研究経過について発表
3 年 目	4月 研究計画書の提出
	2月 第1回中間発表会 ※研究経過について発表
4 年 目	4月 研究計画書の提出
	8月 第2回中間発表会
	12月 学位申請 ※詳細は別途配布する「学位申請の手引」をご確認ください。
	1月 修士論文等の提出 ——> 主査・副査による審査 口頭試問（修了研究一次審査） 修士論文等の修正
	2月 口頭試問（修了研究一次審査）の結果に応じて、回答書及び梗概の修正版を提出 公開発表会・最終修士論文等の提出（修了研究二次審査）
	3月 修了判定結果の発表
	3月中旬 修了式

1-4 時間割

2026前期 デザイン研究科博士前期課程 時間割

	月		火		水		木		金		土 (桑園キャンパス)	
	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年
1 9:00 } 10:30			建築構造 デザイン特論 西川忠 [レクチャールーム]				メカトロニクス 特論 三谷篤史 [E棟講義室1]					コミュニケー ション特論 石井、並木、 石橋、三戸部 ＜オンライン＞
2 10:40 } 12:10			認知・感性科学 特論 石井雅博 [レクチャールーム]				環境植栽 利用学特論 御手洗洋蔵 [レクチャールーム]			製品造形特論 樹田聡志 [レクチャールーム]		国際関係特論 スーディ、 奈良間、市戸、 鬼塚、栗原、 神馬 [小講義室]
3 13:10 } 14:40	環境 マネジメント 特論 小西信義 [レクチャールーム]		環境共生 デザイン特論 大島卓 [レクチャールーム]		日本語会話表現 阿部仁美 [E棟講義室1] ※留学生対象 ※履修登録不要		メディア プロデュース 特論 須之内元洋 [E棟講義室1]		地域創成 デザイン特別 セミナーA 齊藤、横溝、 藤沢、樹田	地域創成 デザイン特別 セミナーB 齊藤、横溝、 藤沢、樹田		少子高齢 社会特論 丸山洋平 ＜オンデマンド＞ ※6月以降開講予定
4 14:50 } 16:20	協創デザイン 特論 福田大年 [レクチャールーム]		製品デザイン 特論 矢久保空遥 [ゼミ3]		日本語文章表現 阿部仁美 [E棟講義室1] ※留学生対象 ※履修登録不要		景観デザイン 特論 椎野亜紀夫 [レクチャールーム]		[レクチャールーム] 同時開講 (全6回を予定)			連携 プロジェクト 演習 古俣、松永、 渡部、松野、 栗原、三戸部 [中講義室]
5 16:30 } 18:00	現代芸術特論 遠藤謙一良 [E棟講義室1]		インタラクション デザイン特論 細谷多間 [レクチャールーム]									地域創生デザイン特別 セミナーBは、セミナー Aの既修得者を対象と する。
6 18:10 } 19:40	デザイン 研究法 椎野、柿山 [レクチャールーム、 C-201]		デザイン特論 藤木、石井、伊藤、 柿山、齊藤、椎野、 細谷、三谷、森、 小宮、小西、 高橋(茶) [C-102]				地域 プロジェクト 演習 金子、柿山、 齊藤、藤木、 三谷、大島、 小林、古俣、 福田、西川、 須之内、松永 [E棟講義室1] (初回)	インターンシップI (事前講義) 山田、吉田、 履修者の研究指 導教員 [E棟講義室1]	インターンシップII (事前講義) 山田、履修者の 研究指導教員 [E棟講義室2]			
7 19:50 } 21:20					※ デザイン 特別 演習		※ 特別 研究I	※ 特別 研究 II				

※「デザイン特別演習」「特別研究I」「特別研究II」(どちらも必修科目)は、便宜上、時間割に掲載していますが、指導教員ごとに個別に調整のうえ、開講します。
 ※履修登録入力の際、「デザイン特別演習」は時間割の水曜日7講目を検索してください(教員により、前期もしくは後期のどちらかに開講されます)。また、「特別研究I」及び「特別研究II」は「集中講義・実習」から検索してください。いずれも、主指導教員の科目を必ず登録してください。

2026後期 デザイン研究科博士前期課程 時間割

	月		火		水		木		金		土 (桑園キャンパス)	
	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年
1 9:00 } 10:30			地域環境 評価特論 森朋子 <対面+ オンライン> [E棟講義室2]				インタフェース デザイン特論 伊藤健世 [C-301]		建築環境学 特論 齊藤雅也 [ゼミ1]		健康福祉政策 特論 上田、本田、 守村、大久保、 塚本、今野 [小講義室]	
2 10:40 } 12:10	ビジュアル デザイン 特論 横溝賢 [レクチャールーム]		ユニバーサル デザイン特論 小宮加容子 [ゼミ室2]				コンピューショ ナル・アート 特論 藤木淳 [合成映像スタジオ]		地域 イノベーション 特論 古俣寛隆 [E棟講義室2]		地域経済政策 特論 小林重人 <オンデマンド>	
3 13:10 } 14:40	地域ブランド 構築特論 小林重人 [C-101]		日本建築史 特論 金子晋也 [ゼミ室2]		日本語会話表現 阿部仁美 [E棟講義室1] ※留学生対象 ※履修登録不要		映像 デザイン特論 松永康佑 [合成映像 スタジオ]		デザイン マネジメント 特論 石井雅博 [C-302]		ヒューマニティ 特論 松井美穂 <対面+ オンライン> [小講義室]	
4 14:50 } 16:20	製品評価 特論 柿山浩一郎 [E棟講義室2]		数理・データ サイエンス特論 渡部大志 [ゼミ室2]		日本語文章表現 阿部仁美 [E棟講義室1] ※留学生対象 ※履修登録不要						連携 プロジェクト 演習 古俣、松永、 渡部、松野、 栗原、三戸部 [中講義室]	
5 16:30 } 18:00	建築計画特論 山田信博 [ゼミ室2]		感性価値特論 金秀敬 <オンライン>				インターシップII (事前講義) 山田、履修者 の指導教員 [ゼミ室2]					
6 18:10 } 19:40												
7 19:50 } 21:20					※ デザイン 特別 演習							

※「デザイン特別演習」(必修科目)は、便宜上、時間割に掲載していますが、指導教員ごとに個別に調整のうえ、開講します。
 ※履修登録入力の際、「デザイン特別演習」は時間割の水曜日7講目を検索してください(教員により、前期もしくは後期のどちらかに開講されます)。
主指導教員の科目を必ず登録してください。

2

博士前期課程 教育課程

- 2-1 デザイン研究科博士前期課程の教育・研究上の理念
- 2-2 教育目的
- 2-3 育成する人材像
- 2-4 教育課程の編成・特色
- 2-5 修了研究スケジュール

デザイン研究科博士前期課程

博士前期課程は、「人間空間デザイン」「人間情報デザイン」の2分野を設けて教育課程を編成しています。デザインの対象分野・領域を問わず、課題解決能力・創造力・企画調整能力・実践能力など、高度で専門的なデザイン能力を兼ね備えた人材を育成します。

2-1

デザイン研究科博士前期課程の教育・研究上の理念

(1) 教育・研究理念

本学大学院は、学部における教育・研究を基盤として、高度化、複雑化する社会に対応し、専門性を一層追求し、研究分野の対象を拡大することとし、次の基本理念を掲げて教育・研究を行い、社会における有為な高度専門職業人及び研究者・教育者の育成に取り組みます。

①人間重視を根幹とし、幅広い視野で活躍できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成します

デザインと看護に共通する「人間重視」の考え方を基盤として、専門性を一層追求し、知識基盤社会において国内外で活躍しうる創造力、分析能力、実践力及びマネジメント能力を併せ持った高度専門職業人を育成します。また、先端的かつ高度な研究に取り組み、両研究科それぞれの専門分野の研究にとどまらず周辺の学問分野を取り入れた学際的・実践的な教育・研究を行う研究者・教育者を育成します。

②地域課題に対応した教育・研究とその成果を積極的に地域へ還元します

公立大学としての役割を果たすため、地域課題に対応する人材を育成するとともに、地域や産業の振興等、地域貢献を大学院の重要な使命と位置付け、地域に密着した様々な課題を研究し、その教育・研究の成果を積極的に地域に還元します。

③デザインと看護が連携した研究を推進します

デザイン分野と看護分野の研究科を併せ持つ特長を最大限に活かし、少子高齢社会における保健・医療・福祉分野等の様々な課題に対して両研究科が連携して多様な研究に取り組みます。

(2) 地域貢献

本学は、「市民に開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」の3つの基本理念を掲げて設置された公立大学であることから、学部における地域貢献に加え、大学院におけるより高度な教育・研究の成果である知的資源を最大限活用して、両研究科の専門分野に応じた特色ある地域貢献に取り組みます。

2-2

教育目的

本課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対して、デザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的とし、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成します。

このため、本課程では大学院の設置の趣旨及び必要性のもとに、以下の能力の修得を目指します。

- (1) 複合的かつ複雑な課題・問題を解決する「課題解決能力」
- (2) デザインを通じて新たな価値を見出す「創造力」

- (3) 課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめる「企画調整能力」
- (4) 一連のデザインプロセスを具体化する「実践能力」

2-3 育成する人材像

(1) 育成する人材像

学部における人材育成の発展・充実を図りつつ、「人間空間デザイン分野」、「人間情報デザイン分野」の2分野において、高度なデザイン能力を有する高度専門職業人及び研究者・教育者を育成します。

育成する人材像として次の2つを掲げています。

①人間空間デザイン分野

高質な建築・都市空間や自然と共存する地域環境のデザイン、およびこれからの社会を提案するまちづくりや地域コミュニティデザインの能力を有する人材

②人間情報デザイン分野

個々の人間に着目し、デザインを科学的に探究するとともに、ものづくりとコミュニケーションのデザイン能力を有する人材

(2) 修了後の進路

修了者の進路としては、「課題解決能力」、「創造力」、「企画調整能力」、「実践能力」を兼ね備えた高度専門職業人として、建設業をはじめ、製造業、観光・情報等の各種サービス産業等、様々な分野の進路を想定しています。

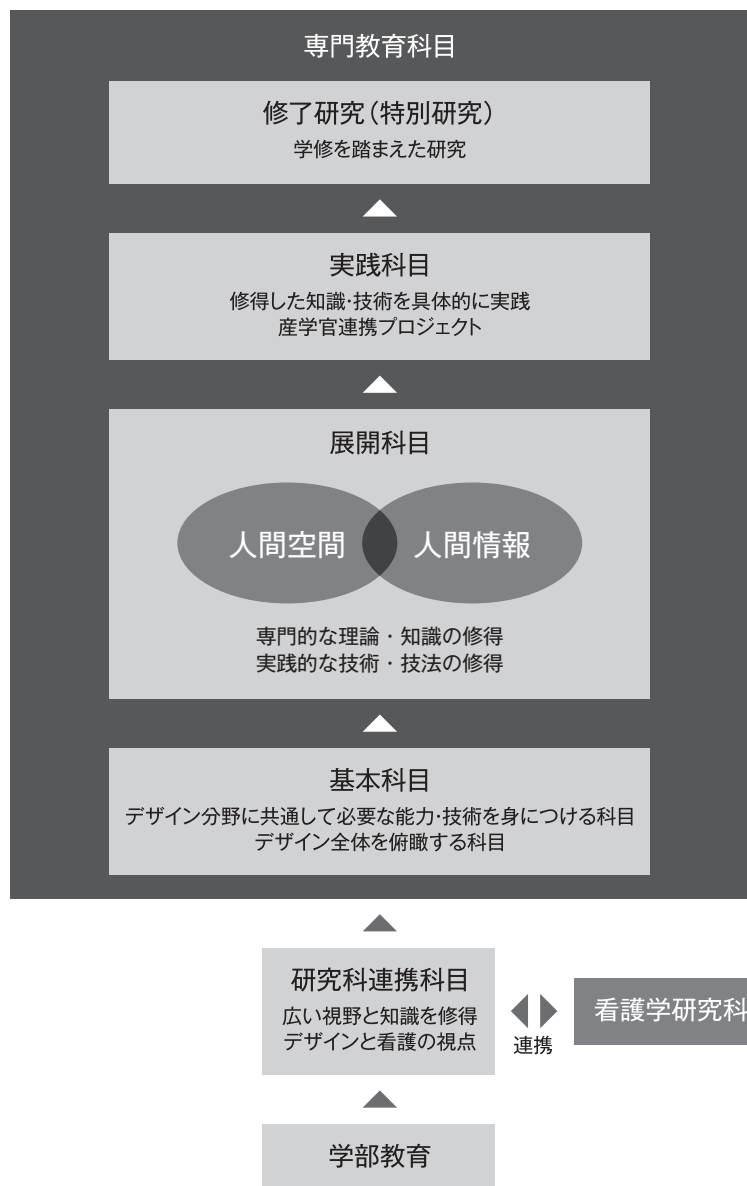
また、博士前期課程における教育・研究を踏まえ、より一層の専門性を高めるため、博士後期課程への進学も想定しています。

【想定される修了後の進路】

- ・ 総合建設業（建築、造園、土木）
- ・ 住宅関連（住宅、インテリアなど）
- ・ 設計事務所・アトリエ（建築、造園、土木、景観関連など）
- ・ 製造業（家電、自動車、医療福祉機器、家具メーカーなど）
- ・ 食品・農業関連企業（食品加工・販売業、農業法人など）
- ・ 通信・モバイル・ネット産業
- ・ IT関連企業（情報デザイン部門、ソフトウェア開発部門）
- ・ 放送関連（テレビ局、番組制作会社、映画産業、TV-CM制作会社など）
- ・ 出版関連（新聞社、出版社、印刷会社など）
- ・ 広告代理店（広告代理店、企業広告宣伝部など）
- ・ 観光・商業・展示関連企業（旅行会社、宿泊施設など）
- ・ 保険・金融・不動産関連企業（企画、市場調査、統計部など）
- ・ コンサルタント（観光調査・企画、地域振興企画、市場調査など）
- ・ 医療・福祉・介護施設（病院、介護施設など）
- ・ 公務員（札幌市・北海道・国交省・経産省など）
- ・ 大学院博士後期課程進学

2-4 教育課程の編成・特色

デザイン研究科教育課程概念図



科目区分及び授業科目の特色

①構成・単位数

授業科目は、大きく「研究科連携科目」と「専門教育科目」の2つに区分されます。

「研究科連携科目」は看護学研究科と合同で行う科目であり、幅広い視野を身につけるため、デザインと看護に共通する関連領域の基礎的素養を涵養するための内容となっています。

「専門教育科目」は、デザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための内容とし、さらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修了研究」に区分されます。

修了要件となる修得単位数は、「研究科連携科目」4単位以上、専門教育科目については、「基本科目」4単位以上、「展開科目」12単位以上、「実践科目」4単位以上、「修了研究」6単位の合計30単位以上とします。

科目区分		修了要件
研究科連携科目		4単位以上
専門教育科目	基本科目	4単位以上
	展開科目	12単位以上
	実践科目	4単位以上
	修了研究	6単位
合計		30単位以上

②修了要件

「研究科連携科目」から4単位以上、「専門教育科目」については、「基本科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「展開科目」から12単位以上(必修2単位を含む)、「実践科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「特別研究」を6単位、合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文等の審査に合格したものに学位を授与します。

2-5 修了研究スケジュール

デザイン研究科修了研究スケジュール

	月	学 生	指導教員	研究科教授会
1 年次	4	入学 研究指導教員希望		指導教員決定
	5	研究課題届提出	履修指導 研究課題決定	研究課題報告
	6	研究計画書作成 倫理審査申請	研究指導計画書作成	研究計画・指導計画報告 倫理審査会
		研究遂行(データ収集等)	研究指導	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【デザイン研究科倫理審査会】 ・構成員4名 ・その他必要に応じて専門家を入れることができる </div>
	2	第1回中間発表会		第1回中間発表会
	2 年次	4	研究計画書作成	研究指導計画書作成
8		第2回中間発表会 ・研究計画と進捗状況をプレゼンテーション	論文等作成指導	第2回中間発表会 ・問題点指摘、意見陳述、改善指導
12		学位申請		主査、副査の決定
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・主査(1名) :当該学生の研究指導を担当する教員以外の研究指導教員 ・副査(2名) :所属分野の研究指導教員及び所属分野外の教員 (うち1名は、当該学生の研究指導を担当する主・副指導教員も可) </div>
1		修士論文等提出		主査・副査修士論文等審査
		口頭試問(修了研究一次審査)		口頭試問(修了研究一次審査)
		修士論文等修正		
2		公開発表会(修了研究二次審査) ・研究成果の発表、プレゼンテーション		公開発表会(修了研究二次審査) ・修正指導
		修士論文等修正		
		最終修士論文等提出(修了研究二次審査)		合否判定
3	修了		修了認定(学位授与)	

※長期履修学生については、2年次以降毎年2月に第1回中間発表会に合わせて研究経過について発表を行います。
最終年次のスケジュールについては、上記2年次と同様です。

◆修了研究の研究種別

1. 修士論文

研究課題を設定し、計画に沿って研究を行い、修士論文にまとめます。

2. 特定課題研究

①修了制作及び修了制作報告書

修了制作は、都市や建築、工業製品、映像などの具体的なデザイン制作を行うもので、成果物は設計図、模型、実物、映像メディアなどを想定しています。修了制作は作品に加え、制作テーマ、調査研究手段、制作スケジュール、考察等を記載した修了制作報告書の提出を必須とします。

②ビジネスプラン等の特定課題の研究

ビジネスプラン等の特定課題の研究は、社会人学生が勤務する企業・組織等で抱える課題等をテーマとして各種ビジネスプランの策定等に取り組むことを基本としています。社会人経験のない学部卒業生が選択する場合には、教育・研究の質を確保し、修士論文・修了制作選択者との公平性を確保するため、研究計画立案時に学内審査を実施します。

◆学位申請・審査

1. 学位申請

修了を予定している年度の12月に申請を行います。詳しくは別途配布する「学位（修士）申請の手引」を参照してください。

2. 審査体制

研究の成果である修士論文等は、主査及び副査による審査委員会により審査を行い、可否を決定します。審査は、主査1人・副査2人の体制で行われ、主査及び副査は研究科教授会において選定されます。主査は当該学生の主指導教員以外の指導教員から、副査は指導教員及び主指導教員等から選定されます。なお、当該学生の主指導教員または副指導教員は副査の一人になることができます。

※学位審査を受ける学生の3親等内の親族は、審査委員会の委員となることができません。

3. 修了研究審査基準

修士論文・修了制作及び修了制作報告書・特定課題研究報告書の完成度を以下の観点で審査します。

【デザイン研究科（博士前期課程）の教育・研究上の理念の達成状況】

- ①人間重視の考え方を基盤とした専門性の追求
- ②国内外で活躍しうる創造力・分析能力・実践力・マネジメント能力
- ③先端のかつ専門分野を超えた学際的・実践的な研究の取り組み
- ④地域課題への対応
- ⑤看護分野と連携した少子高齢化社会における保健・医療・福祉分野の課題への対応

【修了研究としての成果（修士論文）】

修了研究としての成果について、以下に示す①～⑤の条件における達成状況を総合的に判断して可否を決定する。

①独創性

テーマ、あるいはその論及のいずれかにおいて、従来の研究には見ることのできない独自性が示されていること。具体例として以下の点が挙げられる。

- ・取り扱う問題、研究の視点、問題解決のための手法に新しい点が認められる。
- ・得られた研究成果に新しい点が認められる。

②有用性

論文が扱う研究領域や実務に対し、学術的あるいは社会的貢献のある内容が含まれていること。具体例として以下の点が挙げられる。

- ・今後の研究の発展に寄与する有用な知見が記述されている。
- ・今後の産業の発展に寄与する有用な知見が記述されている。

③信頼性

論述された内容が正確に論証され、信頼性の高い結果を導いていること。具体例として以下の点が挙げられる。

- ・関連する先行研究を把握した上で適切に示されている。

- ・提示された研究目的と研究成果との間に、矛盾や乖離等が見られない。
- ・研究方法について客観的に明示されている。
- ・研究結果の解釈、およびそれらから結論を導く過程が適切に述べられている。
- ・結論を述べるに十分な論拠が示されている。

④完成度

博士前期課程を通じて行った研究成果として相応しい構成、及び記述となっていること。具体例として以下の点が挙げられる。

- ・研究の背景と位置付けが適切に述べられている。
- ・研究の目的が適切に述べられている。
- ・研究の成果が適切に述べられている。
- ・体裁、形式、言語表現に重大な不備がない。
- ・文献が適切に引用されている。
- ・冗長でない。

⑤口頭試問での発表及び質疑の内容

研究内容を定められた方法での確に発表することができること。また、その質疑においても説得力のある応答ができること。具体的には以下の点の達成が認められること。

- ・研究目的・意義が説得力をもって伝えられる。
- ・研究方法・成果が説得力をもって伝えられる。
- ・質疑に対して適切かつ簡潔に回答できる。

【修了研究としての成果（特定課題研究：修了制作及び修了制作報告書、もしくはビジネスプラン等の特定課題の研究）】

特定課題研究としての成果について、以下に示す①～⑤の条件における達成状況を総合的に判断して合否を決定する。

①独創性

作品および報告書等の成果物において、従来の作品事例や研究には見ることのできない独自性が示されていること。具体例として以下の点が挙げられる。

- ・研究テーマ、研究の視点、研究方法、造形方法に新しい点が認められる。
- ・デザイン展開プロセスに新しい探究および価値ある考察が認められる。

②有用性

研究が扱う研究領域や実務に対し、実効性を有した課題解決や、先見性を有した問題提起を呈示していること。具体例として以下の点が挙げられる。

- ・デザイン対象〈素材／事象／人びと／空間／社会／環境〉への創造的なはたらきかけとその応答を通じて、デザインする諸問題の全体性の把握につとめ、今後の研究の発展に寄与する有用な知見が記述されている。

③信頼性

作品および報告書等成果物にいたるデザイン手法の理論的枠組みが論述されており、研究成果物を参照する者が十分に内容を理解し、その手法を試行できる論説を行っていること。具体例として以下の点が挙げられる。

- ・デザイン展開のプロセス構成とそれを展開していた行為と思考の特性について論述されていること。
- ・呈示されたデザインアプローチと研究成果との間に、理論的矛盾や乖離等が見られない。
- ・課題解決や問題提起にいたるデザイン展開プロセスが適切に述べられている。
- ・具体的なプロセス省察あるいは研究結果の解釈およびそれらから結論を導く過程が適切に述べられている。

④完成度

作品および報告書等の成果物について、博士前期課程を通じて行った研究成果に足る内容であること。具体例として以下の点が挙げられる。

- ・研究成果物の存在意義を理解できる、社会性、関係性、機能性、審美性、先見性が備わっている。
- ・研究の背景と位置付けが適切に述べられている。
- ・体裁、形式、言語表現に重大な不備がない。
- ・文献が適切に引用されている。
- ・冗長でない。

⑤口頭試問での発表及び質疑の内容

研究内容を定められた方法で的確に発表することができること。また、その質疑においても説得力のある応答ができること。具体的には以下の点の達成が認められること。

- ・ 研究目的・意義が説得力をもって伝えられる。
- ・ 研究方法・成果が説得力をもって伝えられる。
- ・ 質疑に対して適切かつ簡潔に回答できる。

4. 学位論文等の図書館への所蔵

修士論文等の成果物は図書館で所蔵します。

◆修了研究の指導

入学してから修了するまでの研究指導は、『修士論文』、『特定課題研究』ともに同じスケジュールで行います。修士論文を例とした研究指導の流れは次のとおりです。

①指導教員の決定

学生からの申請をもとに、研究科教授会は研究分野及び研究指導に適する主指導教員1名及び必要に応じて副指導教員1名を決定します。

②研究課題の決定

学生は、希望する研究課題、指導教員の専門分野、指導環境等を勘案して、指導教員と相談のうえ研究課題を決定し、研究課題届を提出します。

③研究計画の立案及び指導

決定した研究課題について、指導教員から研究方法、文献検索方法、文献抄読等についての指導を受けながら研究計画を立案し、これに基づき研究を遂行します。一連の手順に沿って研究を進め、論文を作成できるよう指導教員から指導を受けます。

④研究計画書の作成

指導教員の指導・助言を受けながら、研究課題についての具体的な研究計画書を作成します。また、指導教員から研究指導計画について説明を受けます（1年次・2年次）。

なお、研究計画に関して必要に応じて、倫理的側面からデザイン研究科倫理審査会の審査を受けることとなります。

⑤中間発表

中間発表会（第1回・第2回）にてそれまでの研究成果を発表します。発表内容に係る問題点等の指摘を受け、指導教員から課題解決方法等について助言を受けます。

⑥修士論文の作成及び指導

それまでの研究成果をもとに、修士論文の作成を開始し、中間発表会での質疑や指摘等を踏まえて、修士論文をまとめます。修士論文の作成について、指導教員から論文の全体構成、資料・データの整理法、図表の作成、引用文献の記述法などの指導を受けます。

⑦主査・副査の決定

研究科教授会は、学生の研究の成果を取りまとめた修士論文を審査する主査1名及び副査2名を決定し、学生に通知します。

⑧修士論文の提出及び口頭試問（修了研究一次審査）

修士論文を所定の期日までに提出します。主査及び副査から、提出した修士論文の審査を受けるとともに、その論文内容及び専門領域に関する口頭試問（修了研究一次審査）を受けます。

⑨公開発表会（修了研究二次審査）

公開発表会にて修士論文に係る研究発表を行います。主査及び副査は、発表内容に係る問題点を指摘・助言します。ここで指摘された問題点の解決方法等について指導教員から指導を受け、修士論文を完成させます。

⑩最終修士論文の提出（修了研究二次審査）及び合否判定

口頭試問（修了研究一次審査）及び公開発表会で指摘された事項を修正した修士論文を提出します。提出された修士論文は、主査及び副査によって審査され、これらの結果は研究科教授会へ報告されます。

研究科教授会は、主査及び副査による修士論文の審査結果及び当該学生の単位取得状況によって博士前期課程修了の合否判定をします。

⑪博士前期課程の修了及び学位の授与

学長が、研究科教授会の判定に基づき、学生の博士前期課程の修了を認定し、修士の学位を授与します。

⑫その他（学外における発表）

学位申請日までに修士論文または特定課題研究の内容を学会等で発表または各種コンペなどの出展などにおいて、少なくとも年1回以上発表してください。特に、全国規模の発表を在学中に少なくとも1件行ってください。

なお、本学デザイン研究科において、発表とは第三者が主催する学術的事業において氏名が対外的に公開されている状態を指します。

◆主指導教員、副指導教員、アドバイザーの科目の履修について

主指導教員が研究指導上必要であると認めた場合に、副指導教員、アドバイザーを定めることができます。**主指導教員の展開科目の「特論科目」、「デザイン特別演習」、「特別研究」を履修することを必須とします。**副指導教員、アドバイザーの特論科目は履修可能ですが、デザイン特別演習、特別研究は履修できません。

指導教員と科目の関係

	特論科目	デザイン特別演習	特別研究
主指導教員	必ず履修	必ず履修	必ず履修
副指導教員	履修可能	履修できない	履修できない
アドバイザー	履修可能	履修できない	履修できない

3

博士前期課程 履修要項

- 3-1 授業科目一覧・履修モデル
- 3-2 履修登録について
- 3-3 履修登録マニュアル

3-1 授業科目一覧・履修モデル

2025年度以降入学生用

※履修モデル：履修が推奨される科目の組み合わせの一例を示したものです。各自が持つ研究テーマに沿って履修計画を立てる必要があります。

科目区分	授業科目の名称	配当年次 (時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
			必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名	
						建築・環境 デザイン	地域コミュニケー ションデザイン	ものづくり デザイン	情報コミュニケー ションデザイン
						研究テーマ例		研究テーマ例	
					高質な建築・都市空間や自然と共存する地域環境のデザインに関する研究	これからの社会を提案するまちづくりや地域コミュニティデザインに関する研究	製品インタフェースデザインのユーザビリティに関する研究	認知科学に基づくウェブサイトのインタラクションデザインの研究	
研究科連携科目	国際関係特論	1・2 前		2			△	(△)	
	少子高齢社会特論	1・2 前		2	(△)	(△)			
	健康福祉政策特論	1・2 後		2					
	地域経済政策特論	1・2 後		2	△	(△)			
	ヒューマニティ特論	1・2 後		2			(△)	(△)	
	コミュニケーション特論	1・2 前		2	(△)	△	(△)	△	
	連携プロジェクト演習	1 通		2	△	△	△	△	
小計(7科目)	—	—	14	—	4単位以上				
基本科目	デザイン特論	1 前		2	○	○	○	○	
	デザイン研究法	1 前		2	△	(△)	△	(△)	
	デザインマネジメント特論	1 後		2	(△)	△	(△)	△	
	小計(3科目)	—	2	4	—	4単位以上			
専門教育科目 展開科目	建築計画特論	1・2 後		2	△ ■	(△)	(△)		
	建築環境学特論	1・2 後		2	△ ■	(△)	(△)		
	建築構造デザイン特論	1・2 前		2	△ ■				
	日本建築史特論	1・2 後		2	(△)				
	景観デザイン特論	1・2 前		2	△	(△)			
	地域環境評価特論	1・2 後		2	(△)	△			
	環境共生デザイン特論	1・2 前		2	△ ■	(△)			
	環境マネジメント特論	1・2 前		2	(△)	△		(△)	
	現代芸術特論	1・2 前		2	(△)				
	メディアプロデュース特論	1・2 前		2		△		(△)	
	地域ブランド構築特論	1・2 後		2		△			
	地域イノベーション特論	1・2 後		2	(△)	△		(△)	
	環境植栽利用学特論	1・2 前		2	△	(△)			
	ユニバーサルデザイン特論	1・2 後		2	(△)	△	(△)	(△)	
	製品造形特論	1・2 前		2			(△)		
	製品評価特論	1・2 後		2			△	(△)	
	メカトロニクス特論	1・2 前		2			△	(△)	
	インタフェースデザイン特論	1・2 後		2		(△)	△	(△)	
	製品デザイン特論	1・2 前		2			△	(△)	
	感性価値特論	1・2 後		2		(△)	(△)	△	
	認知・感性科学特論	1・2 前		2	(△)		(△)	△	
	インタラクションデザイン特論	1・2 前		2			△	△	
	映像デザイン特論	1・2 後		2			(△)	△	
	ビジュアルデザイン特論	1・2 後		2				(△)	
	コンピュータショナル・アート特論	1・2 後		2	(△)		(△)	△	
	数理・データサイエンス特論	1・2 後		2	(△)	(△)	△	(△)	
	協創デザイン特論	1・2 前		2		(△)	(△)	△	
	デザイン特別演習	1 前・後	2			○ ■	○	○	○
小計(28科目)	—	2	54	—	12単位以上				
実践科目	地域プロジェクト演習	2 前		2	○ ■	○	○	○	
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2 前		2	△	△	△	△	
	地域創成デザイン特別セミナーB	2 前		2		△	△	△	
	インターンシップI	1・2 ※1	集中		2	△ ■		△	
	インターンシップII	1・2 ※2	集中		4	△ ■			
小計(5科目)	—	2	6	4	4単位以上				
修了研究	特別研究I	1 通		3	○	○	○	○	
	特別研究II	2 通		3	○	○	○	○	
	小計(2科目)	—	6	—	—	6単位			
合計(45科目)		—	12	78	4	30単位以上 ※3			

○：必修科目 △：推奨される選択科目 (△)：選択科目の組み合わせ候補(研究課題によって選択)

■は一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)

※1 インターンシップIは前期に履修登録可

※2 インターンシップIIは1年次後期以降の前期・後期に履修登録可

※3 「建築・環境デザイン」履修モデルは34単位以上が必要

2024年度入学生用

※履修モデル：履修が推奨される科目の組み合わせの一例を示したものです。各自が持つ研究テーマに沿って履修計画を立てる必要があります。

科目区分	授業科目の名称	配当年次 (時期)		単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野		
				必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名		
							建築・環境 デザイン	地域コミュニケー ションデザイン	ものづくり デザイン	情報コミュニケー ションデザイン	
							研究テーマ例		研究テーマ例		
高質な建築・都市空間や自然と共存する地域環境のデザインに関する研究	これからの社会を提案するまちづくりや地域コミュニティデザインに関する研究	製品インタフェースデザインのユーザビリティに関する研究	認知科学に基づくウェブサイトのインタラクションデザインの研究								
国際関係特論	1・2	前		2							
少子高齢社会特論	1・2	前		2			(△)		(△)		
健康福祉政策特論	1・2	後		2							
地域経済政策特論	1・2	後		2			(△)		(△)		
ヒューマニティ特論	1・2	後		2				(△)	(△)		
コミュニケーション特論	1・2	前		2			(△)	(△)	(△)		
連携プロジェクト演習	1	通		2			(△)	(△)	(△)		
小計(7科目)	-			-	14	-	4単位以上				
基本科目	デザイン特論	1	前		2		◎	◎	◎	◎	
	デザイン研究法	1	前		2		△	(△)	△	(△)	
	デザインマネジメント特論	1	後		2		(△)	△	(△)	△	
	小計(3科目)	-			2	4	-	4単位以上			
専門教育科目	建築計画特論	1・2	後		2		△ ■	(△)	(△)		
	建築環境学特論	1・2	後		2		△ ■	(△)	(△)		
	建築構造デザイン特論	1・2	前		2		△ ■				
	日本建築史特論	1・2	後		2		(△)				
	景観デザイン特論	1・2	前		2		△	(△)			
	地域環境評価特論	1・2	後		2		(△)	△			
	環境共生デザイン特論	1・2	前		2		△ ■	(△)			
	環境マネジメント特論	1・2	前		2		(△)	△		(△)	
	現代芸術特論	1・2	前		2		(△)				
	メディアプロデュース特論	1・2	前		2			△		(△)	
	地域ブランド構築特論	1・2	後		2			△			
	地域イノベーション特論	1・2	後		2		(△)	△		(△)	
	製品造形特論	1・2	前		2				(△)		
	製品評価特論	1・2	後		2				△	(△)	
	メカトロニクス特論	1・2	前		2				△	(△)	
	インタフェースデザイン特論	1・2	後		2			(△)	△	(△)	
	製品デザイン特論	1・2	前		2				△	(△)	
	感性価値特論	1・2	後		2			(△)	(△)	△	
	認知・感性科学特論	1・2	前		2		(△)		(△)	△	
	インタラクションデザイン特論	1・2	前		2				△	△	
	形状情報処理特論	1・2	前		2				(△)		
	映像デザイン特論	1・2	後		2				(△)	△	
	ビジュアルデザイン特論	1・2	後		2					(△)	
	コンピュータショナル・アート特論	1・2	後		2		(△)		(△)	△	
	デザイン特別演習	1	前・後		2		◎ ■	◎	◎	◎	
小計(25科目)	-			2	48	-	12単位以上				
実践科目	地域プロジェクト演習	2	前		2		◎ ■	◎	◎	◎	
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2	前		2		△	△	△	△	
	地域創成デザイン特別セミナーB	2	前		2			△	△	△	
	インターンシップI	1・2	集中		2		△ ■		△		
	インターンシップII	1・2	集中		4		△ ■				
小計(5科目)	-			2	6	4	4単位以上				
修了研究	特別研究	1~2	通		6	-	◎	◎	◎	◎	
小計(1科目)	-			6	-	-	6単位				
合計(41科目)		-			12	72	4	30単位以上 ※			

◎：必修科目 △：推奨される選択科目 (△)：選択科目の組み合わせ候補(研究課題によって選択)

■は一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)

※「建築・環境デザイン」履修モデルは34単位以上が必要です。

3-2 履修登録について

授業科目の履修登録は、単位を修得するために欠かせない手続きであり、履修しようとする授業科目については、必ず履修登録を行わなければなりません。履修登録の手続きを行わないで授業を受けても、単位を修得できません。履修登録の手続きにあたっては、以下の内容をよく読み、ガイダンスやポータルシステムなどによる指示に従って、各自が自主的に時間割を作成するなど、計画的に履修することが必要となります。

(1) 基本事項

- a.履修科目は、教育課程、Webシラバス、授業時間割などによって適切に決定してください。
 - b.所属年次に配当されている必修科目は、必ず履修登録してください。**
 - c.上の年次に配当されている授業科目は履修登録できませんが、下の年次に配当されている授業科目は履修することができます。
 - d.単位を修得した授業科目を再度履修登録することはできません。
 - e.履修登録確認期間終了後に、履修が確定した科目の変更は原則として認めません。**
 - f.指定された期間に履修登録を行わなかった場合は、その学期の履修はできないこととなります。
 - g.他研究科の授業科目を履修することも可能ですが、当該授業科目を履修することにより修得した単位は、修了要件単位に含めることはできません。
- ※必ず修了要件単位数を確認してください。登録した科目数が不足している場合は、修了できません。**

(2) 履修登録の方法

履修登録は、前・後期の各「履修登録期間」内に、キャンパスプラン学生用Webサービスの「履修申請」メニューから学生本人が行います。

入力方法については、履修する科目をWebシラバスでよく確認のうえ、マニュアル（P27以降）の操作手順に従って申請入力してください。履修申請情報を入力後、必ず登録確認画面で履修申請する科目の確認をしてください。

また、入力に際しては、各自の時間割を完成させた上で、システムへの入力を始めてください。

なお、履修登録期間中は、申請入力した内容を各自で修正することができます。

※Webシラバスはキャンパスプラン学生用Webサービスのメインメニューまたは大学公式ウェブサイトからアクセスできます。

(3) デザイン学部開講科目の履修について

指導教員が特別研究のために必要と認めた学部の授業科目については、在学期間を通して10単位を上限に、当該授業科目の担当教員の下承を得た上で、履修を申請することができます。

i) 履修手続

デザイン学部の授業科目を履修しようとするときは、「履修登録期間」内に授業科目履修申請書(様式1)を学生課まで提出してください。

ii) 履修登録

デザイン研究科教授会にて申請が受理された後、申請者へ通知のうえ、学生課が履修登録を行います。

(別紙1)	年 月 日
授業科目履修申請書	
(あて先) デザイン研究科長	研究科名 _____ 学籍番号 _____ 氏 名 _____ 指導教員 _____ 氏 名 _____ 印 科目担当 _____ 印 教員氏名 _____ 印
札幌市立大学大学院学則第28条第1項の規程に基づき、下記のとおり授業科目の履修を申請いたします。	
記	
1 申請授業科目名:	
2 特別研究のために申請授業科目の履修が必要な理由:	

様式1

履修登録期間・履修登録確認期間

【前期】4月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
履修登録期間 4/7(火)～4/14(火)						
13	14	15	16	17	18	19
履修登録確認期間 4/16(木)～4/21(火)						
20	21	22	23	24	25	26
【後期】10月						
月	火	水	木	金	土	日
9/28	9/29	9/30	10/1	2	3	4
履修登録期間 9/28(月)～10/5(月)						
5	6	7	8	9	10	11
履修登録確認期間 10/7(水)～10/13(火)						
12	13	14	15	16	17	18

■履修登録期間

前期：2026年 4月 7日(火)～ 4月14日(火) 17：00 *日時厳守

後期：2026年 9月28日(月)～10月 5日(月) 17：00 *日時厳守

※登録方法は、「札幌市立大学履修登録マニュアル」を参照すること。

■履修登録確認期間

前期：2026年 4月16日(木)～ 4月21日(火) 17：00 *日時厳守

後期：2026年10月 7日(水)～10月13日(火) 17：00 *日時厳守

確認すべき点

- ①履修希望科目（特に必修科目・再履修科目）が登録されているか。
- ②履修希望しない科目が登録されていないか。
- ③修了に必要な単位数を修得できるか。
- ④主指導教員の展開科目の特論科目、デザイン特別演習、特別研究Ⅰもしくは特別研究Ⅱを登録しているか。

訂正・修正

- ・履修登録確認期間中に各自で行うこと。

※履修登録確定後の修正は一切認められません。

3-3 履修登録マニュアル

札幌市立大学 履修登録マニュアル

ver.260113

! point 履修登録をする前に

- ・事前に必修科目の有無や卒業要件単位について確認しましょう。
- ・直前の学期までの成績がついている学生は、単位修得状況を確認しましょう。

! point 履修登録の申請をするには本学のWeb履修申請システム「CampusPlan」を使用します。

次項より示す、以下の5つのステップを確実に行ってください。

✿ Step01 - ログイン

✿ Step02 - 前期・後期・通年開講の履修科目登録

✿ Step03 - 集中講義・実習申請の登録

Step04の作業を行わないと
Step03までの入力作業が失われます

✿ Step04 - 履修科目の申請処理

✿ Step05 - 履修申請のチェック

●特に大事なチェックポイントの例

- ・必修科目を登録しているか
(特に進級・卒業・修了時の要件となる科目)
- ・クラス分けがある科目の登録を
誤っていないか。(教員名・グループ名など)

! point 登録後の確認作業を徹底してください。

- ・登録後は必ず「履修結果DL/履修表DL」からPDFをダウンロードし登録内容を手元に置いておいてください。
- ・履修期間中であれば、何度でも履修登録の変更が可能です。
- ・履修登録確認期間に、もう一度履修登録システムの画面上で登録に間違いがないか、必ず確認してください。
- ・確認期間終了後は、追加・修正は認められません。

●留年に直結します

Step01 - ログイン

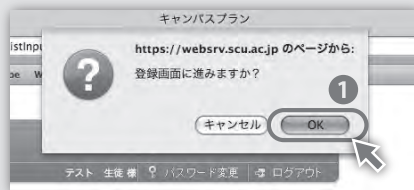
*スマートフォンからアクセスした場合
画面表示が異なりますが
基本的にPC版と同じ操作です。

学内のコンピュータ室のパソコンから

学外(自宅等)のパソコンから

Webブラウザを起動

https://campus-plan.scu.ac.jp/gakusei/
にアクセス



1 「OK」をクリック

札幌市立大学認証システム(extic)
https://scudna.ex-tic.com/
にアクセス



- 1 ユーザーIDに学籍番号
- 2 パスワードに認証基盤システムのパスワード (Microsoft365と同じ)
- 3 「次へ」をクリック



4 exticの「ポータル」タブの「キャンパスプラン」リンクをクリック



5 ブックマークページ内の「キャンパスプラン」リンクをクリック

- 1 ユーザーID:学籍番号
- 2 初期パスワード:生年月日8桁 (例2001年2月3日の場合、20010203)
- 3 「ログイン」をクリック

*初回ログイン時にパスワード変更が求められます。

*混みあって接続できない時は時間を空けて再接続
*作業完了後は必ず「ログアウト」すること



アカウントがロックされたら

5回連続で間違えるとアカウントがロックされます。
なお、15分経過でロックは自動解除されます。
パスワードがわからなくなった場合はリセットができますので、所属キャンパスの教務係にお申し出ください。



←「ログイン」成功

Step02 - 前期・後期・通年開講の履修科目登録

前期は前期と通年
後期は後期の科目を登録する

1 「履修申請」をクリック

2 時間割を参照し履修したい開講曜日と時間の「+」をクリック
* 前期に後期の科目を履修登録しないこと。

3 履修したい「講義名称」をクリック

4 履修する科目の画面で「追加」をクリック

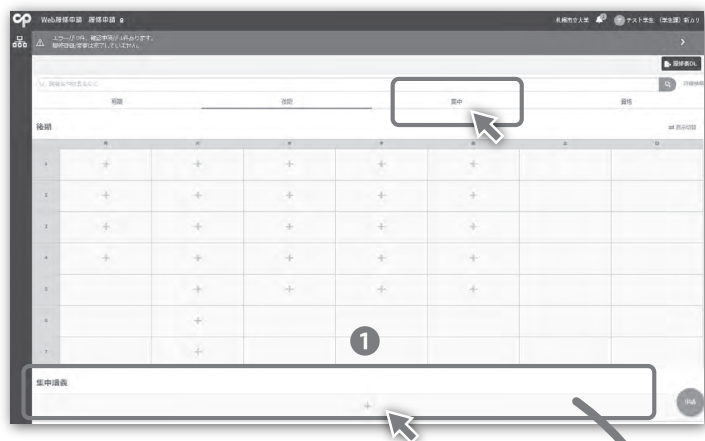
シラバスで
授業内容を確認する

追加

削除

* ②の画面にもどります。選択した科目が表示されていることを確認する。
* 一旦登録した科目を削除する場合は②の画面で科目を選択したあと「削除」ボタンをクリックする。
* 「資格」に関するタブは使用していないため、科目が表示されなくても正常な状態です。
* Step-04の「申請処理」を行わないと実際の登録処理は行われません。

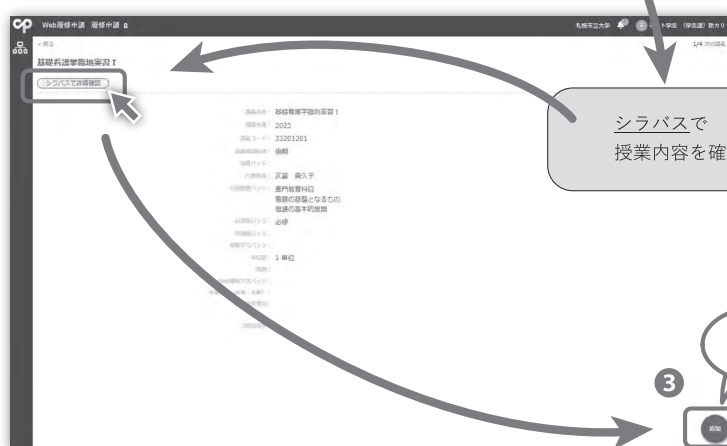
Step03 - 集中講義・実習申請の登録



- 1 「集中講義」エリアの「+」をクリック
※「集中」タブをクリックすると
「集中講義」エリアにジャンプします。



- 2 表示された中から履修したい
集中講義・実習科目の
「講義名称」をクリック

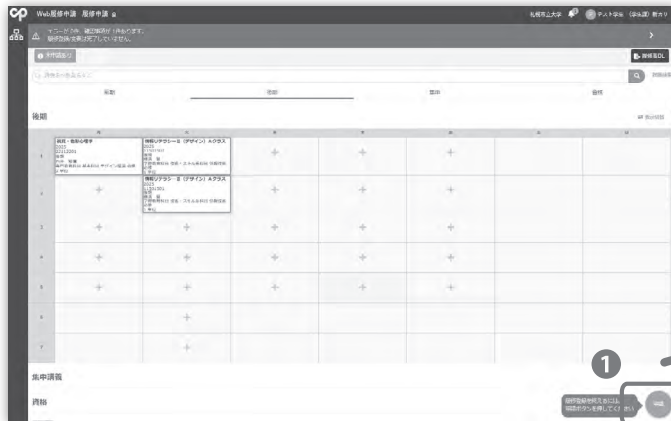


- 3 履修する科目の画面で
「追加」ボタンをクリック

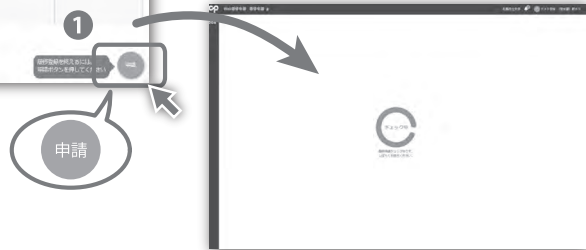
*「資格」に関するタブは使用していないため、科目が表示されなくても正常な状態です。
* Step-04の「申請処理」を行わないと実際の登録処理は行われません。

Step04 - 履修科目の申請処理

Step04の作業を行わないと
Step03までの入力作業が失われます



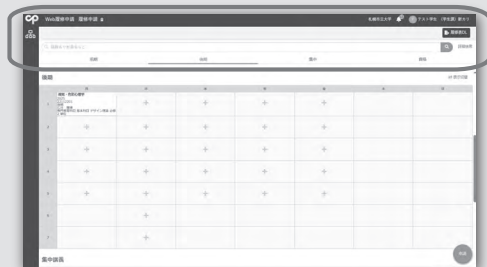
- 1 全ての登録が終わったら
「申請」をクリック
- 2 必ず
チェックが終わるまで待つこと



エラーがない場合



3 「履修申請に戻る」をクリック



4 申請画面にエラー表示がないことを確認

エラーがある場合



3 「履修申請に戻る」をクリック



4 申請画面のエラー内容を確認し修正

必修科目の登録がされていないか
クラス分け科目の登録を誤ったりしても
エラーには出てこないためご注意ください

Step05 - 履修申請のチェック

1 「履修状況表示」をクリック

2

3

- 2 履修登録内容を改めて確認しましょう。
- 3 ・エラーなし
・履修登録内容確認済
となったら、「履修表DL」をクリックし、PDFファイルのダウンロードをしてください。
(システムトラブル時の疑義解消に役立ちます)

履修登録追加・削除時の注意事項

※ 1 科目の追加・削除をし、未申請の場合「未申請あり」の表示が出ます。

※ 2 科目の追加後、未申請の場合ハイライトで表示されます。



札幌市立大学大学院デザイン研究科
GRADUATE SCHOOL OF DESIGN
SAPPORO CITY UNIVERSITY